クリエーティブ産業創出―かごしま

鹿児島市が新産業の創出に力を入れている。クリエーティブ産業ではデザインやコンテンツ分野の人材育成を拡充。地場企業を巻き込んだ取り組みに発展させた。地域資源を生かした食品や健康関連産業の創出にも乗り出し、創業や付加価値向上を支援する都市機能が向上している。

デザイン関連分野振興
アカデミーを開設

市がクリエーティブ産業の振興に取り組む理由の一つは、商業、教育、文化芸術などの関連施設の集積が生かせるため。鹿児島県の農林水産品を使った加工品のデザインなど多くの付加価値が、地域外で生み出されているという課題もあった。

市は2011年度から21年度までの11年間を期間とする構想「鹿児島市商工業振興プラン」でデザイン関連産業を振興分野の一つに挙げている。

鹿児島には、全国トップクラスの生産量にもかかわらず産地としての認知度が低い農産品が多い。農産加工品のデザイン性向上やブランド化は、原材料や産地のイメージアップにつながる。

12年度は商品開発デザイナー育成支援事業「かごしまデザインキャンプ2012」を実施。市内のデザイナーやデザインを学ぶ学生、製造業者が参加した講座や企業とデザイナーの交流イベントを開いた。

13年度に始まったのが「クリエイティブタレント育成支援事業」。デザインに限らず、商品コンセプトやネーミング、サービスも含めて企画できる人材を育成している。

企業とデザイナーの間に立って商品を企画したりデザイナーなど複数の専門家を調整したりして、ブランド化戦略を進める人材の育成も図る。

14年度は、デザイナーやプロデューサー、企業、学生が集い、交流する場として「かごしまデザインアカデミー」を鹿児島市内に開設。年間を通じてデザインに関する講座やイベントを開いた。

全10回の「プロデューサー能力育成講座」では、企業の商品開発担当者を含む30人が企画、チームワーク、市場戦略について学んだ。

これまでの取り組みを土台に、15年度は「クリエイティブ産業創出事業」としてさらに発展させる。大都市のクリエーターの誘致も目指す。

かごしまデザインアワード2014の表彰式

デザインアワード2014
市交通局キャラも誕生

人材育成や付加価値向上の一環として13年度から実施しているのが、デザインコンテスト「かごしまデザインアワード」。企業の課題に応えるデザインを競う。14年度は国内外から429作品の応募があり、1月に最終審査となる公開プレゼンテーションを開催した。その結果、最優秀賞1件と企業賞3件、奨励賞3件、パブリック部門賞1件が選ばれた。

14年度のコンテストテーマは「鹿児島をリデザインする。」。応募作品には、地元向け商品を首都圏で販売するためのパッケージデザインや、観光客向けサービスの象徴となるようなキャラクターデザインがあった。

最優秀賞はフォーチュンフラット（有山壽彦氏、伊地知裕貴氏）の「急須―隙間時間に淹れるお茶」。1人用の急須でお茶を飲む習慣を普及させ、鹿児島県産茶葉の需要拡大につなげようとする企画が評価された。

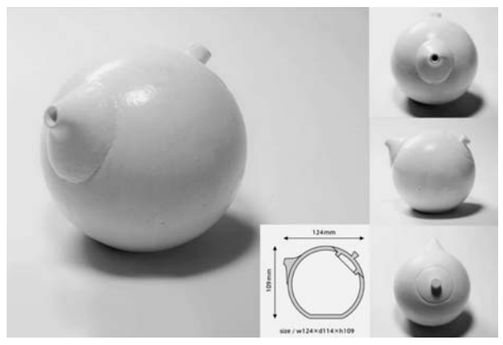
企業賞は永留里紗、久保雄太、星崎彩、中津歩弓の各氏。茶葉の販売方法を提案した永留氏の「mojoy『かわいい』をもっと日常に。」は、茶葉ごとに番号を付けることで多様な味と香りを楽しんでもらおうというアイデア。久保、星崎両氏の「リビングに飾りたくなるパッケージ」「梅のカバーパッケージ」は、パッケージを通じて黒酢が日常的にある生活を提案した。

中津氏の「鹿児島特産かんぱち丼『丼ぱち』」は和紙を使うなどしてカンパチの質の高さを伝えようとしている。パブリック部門賞の「バスでん仮面」は鹿児島市交通局のマークを使ったキャラクターデザイン。使い方まで企画し、長く愛されるキャラクターづくりに取り組んだ。

15年度のデザインアワードは学生部門を作り、販売を意識した企画書作成を学ぶ機会を設ける。

かごしまデザインアワード2014受賞作品

最優秀賞
「急須―隙間時間に淹れるお茶」



企業賞
「リビングに飾りたくなるパッケージ」
「梅のカバーパッケージ」

企業賞
「mojoy『かわいい』をもっと日常に。」

パブリック賞
「バスでん仮面」

企業賞
「鹿児島特産かんぱち丼『丼ぱち』」

かごしまデザインアワード2014の概要

(1) 最優秀賞

課題を出した企業	受賞作品（受賞者）
池田製茶	「急須―隙間時間に淹れるお茶」（有山 壽彦・伊地知 裕貴）

(2) 企業賞

課題を出した企業	受賞作品（受賞者）
鹿児島製茶	「mojoy『かわいい』をもっと日常に。」（永留 里紗）
坂元醸造	「リビングに飾りたくなるパッケージ」「梅のカバーパッケージ」（久保 雄太・星崎 彩）
敬天水産	「鹿児島特産かんぱち丼『丼ぱち』」（中津 歩弓）

(3) パブリック部門賞

課題を出した企業	受賞作品（受賞者）
鹿児島市交通局	「バスでん仮面」（梅田 啓介・東郷 亜依）

食・健康産業都市目指す
販路拡大まで一貫支援

鹿児島市は15年度、食品関連産業の振興に一段と力を入れる。商品開発からマーケティング、販路開拓まで一貫して支援する体制を充実させるほか、人材育成に取り組む。

新たに実施するのは、商品開発の勉強会、商品開発支援コーディネーターの配置、開発への助成など。最終的には商談会や展示会への出展支援を想定している。

市は14年度も農商工連携をテーマにした「人材育成塾」を開くなど食品関連への支援を行っている。14年11月には交流会を開き、食品メーカーや農業法人など46社が参加した。3月13日には「かごしまテストマーケット」と題した試食販売会を開き、一般の来場者に対するアンケートを行った。

市は15年度、健康をテーマに関連産業を振興する「アクティブエイジング産業創出モデル」事業を強化する。「抗加齢」をテーマに、観光や美容を含めて幅広く連携。県外を対象にした「アクティブエイジングツーリズム」と「市民向け健康アクティビティープログラム」の二つのテーマに取り組む。

アクティブエイジングツーリズムは、アンチエイジング（抗加齢）に関心が高い層がターゲット。旅行メニューや滞在型の体験メニューを提供する。

市民向け健康アクティビティープログラムでは、健康的な食事や運動、健康診断などを組み合わせたサービスを提供。地域内の回遊性を高め商店街などの活性化につなげる。

事業の前段として2月に「健康サービス産業創出セミナー」を開催。医療、福祉、スポーツクラブ、ホテル、飲食店などから約100人が集まった。

コールセンター誘致へ
雇用者数大で助成増加

鹿児島市はコールセンター（電話対応窓口）や事務処理センターを、誘致の重点分野としている。雇用者数や通信回線使用料、オフィス賃借料などに応じて助成を増加。立地を決めた企業が大学や短期大学内で開く企業説明会をコーディネートしている。

14年度、市内への進出や増設を決めたコールセンターや事務処理センターには、財宝（鹿児島県鹿屋市）やプライムアシスタンス（東京都中野区）、TMJ（同新宿区）がある。

ミネラルウオーターや焼酎の通販を手がける財宝は、市内中心部に事業所を増設して稼働している。これを5年後に150人体制とする計画。プライムアシスタンスは、自動車保険加入者から故障や事故などの相談を電話で受け付ける業務を14年から行っている。15年1月に事業拡大を決め、17年には現在の約3倍となる300人にする。事務処理サービスなどを手がけるTMJは、14年に開設した事業所の拡大を決定し、250人規模に増やす計画だ。

市には、インキュベーション施設として「ソフトプラザかごしま」と「ソーホーかごしま」がある。ソフトプラザはソフトウエア業やインターネット関連業、デザイン業などが対象で、産学連携用の共同研究室や産業関連情報を収集できるサロンを備える。中小企業のIT利活用促進を図るセミナーを開催。また、インキュベーションマネージャーが企業支援機関とのネットワークを活用、入居者の状況に応じたビジネスサポートを行っている。

「ソーホーかごしま」は14年度に10周年を迎え、15年1月には記念イベントが開かれた。その役割は広がる。

スペシャルニーズに応える

当社は地域産業の自動化、省力化、合理化、省エネなどで貢献している総合エンジニアリングの会社です。

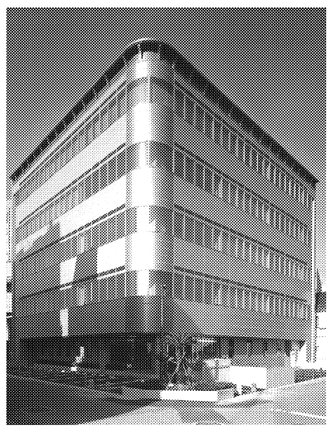
自動機・省力化機械の開発・設計・製作
コンピュータシステム開発・ソフトウェア設計
電気工事・管工事・空調工事・メンテナンス

Engineer Minds
株式会社フジヤマ
代表取締役会長 藤山 敏己　代表取締役社長 藤山 和久
本社 鹿児島県鹿児島市七ツ島1-4-12 〒891-0132
TEL 099-261-3331　FAX 099-261-8283
宮崎営業所 TEL 0985-53-7588
URL http://www.fujiyama-corp.com/

『ライフスタイル』×『クリエイティブ』

食・癒し・アクティブ…鹿児島市では、豊かな生活環境と事業環境の中でクリエイティブな人材が育っています。

IT関連企業拠点施設
ソフトプラザかごしま



好立地
市街地中心部に立地。高い利便性と充実した交通アクセス

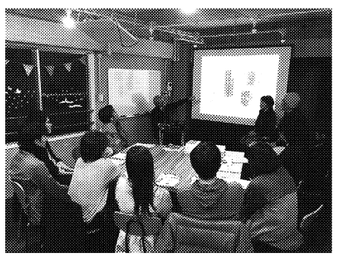
低コスト
周辺の相場の6割程度
（約1,500円／㎡）
面　積:41.23㎡～101.63㎡
月額賃料:61,000円～152,000円
敷金、礼金:不要

充実した通信基盤
全室に光ブロードバンド回線を整備

24時間稼働
インテリジェントビルとして多様な事業活動に対応

産学官連携
産学官の連携、企業間の交流の場を提供。インキュベーション・マネージャーなど専門家による幅広い支援

入居可能業種
ソフトウェア業、インターネット附随サービス業、デザイン業など

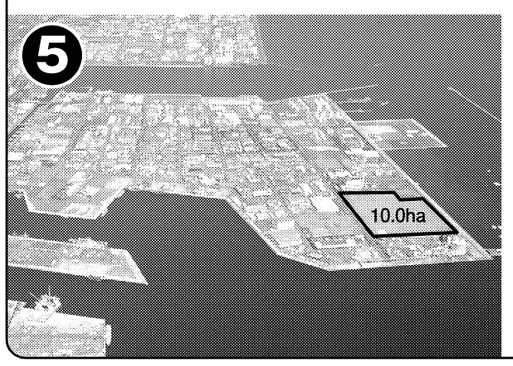


南の交流拠点都市

鹿児島市は企業進出の好適地

製造業、コールセンター・事務処理センター、デザイン・コンテンツ業、ソフトウェア業、研究開発型企業などで立地をお考えの皆様

60万都市鹿児島市に位置する大規模工業地帯
鹿児島臨海工業地帯1号用地



用地概要
- 所有／鹿児島県
- 工業用地面積／3,603,466㎡
- 分譲可能面積／100,462㎡
- 分譲価格／30,550円/㎡
- 現況／造成済

交通アクセス
- 国道3号・10号／約15km
- 南薩縦貫道 谷山IC／約5km
- 鹿児島空港／約42km
- 九州新幹線鹿児島中央駅／約13km
- 鹿児島港／隣接

鹿児島市で コールセンター BPOセンター 始めませんか!?

御社のさらなる発展のステージを積極的にご支援いたします。

鹿児島市の魅力、選ばれる理由があります。

豊富な人材
人口:約60万人
中核市43市中、第2位

充実した交通アクセス
九州新幹線の全線開業で
陸海空の交通網がさらに充実

低コスト
大都市に比べて賃金、
オフィス賃料が安価

安心・安全
地震保険:1等地
（最も掛け金の低い地域）

鹿児島市の手厚いサポート
雇用や通信料、研修費等幅広い補助金メニュー
鹿児島市視察のご案内等

詳しい資料・お問い合わせは　鹿児島市産業創出課　〒892-8677鹿児島市山下町11-1　TEL 099-216-1314　FAX 099-216-1303　E-mail yuuchi@city.kagoshima.lg.jp　鹿児島市 企業立地 検索